

緑化だより

No.33 平成20年11月号



雲海とオオモミジの紅葉 平成19年11月14日撮影

- きのこのない食卓なんて
- 樹のあれこれ
- 研修会・イベント報告

- 研修会・イベント紹介
- 花だより
- お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこのない食卓なんて

『第8話 制ガン作用について(5) 冬虫夏草(とうちゅうかそう)』

10 数年前広島でのアジア大会で脅威の走りを見せた中国の馬軍団ですが、その力の源として**冬虫夏草**を愛用していたということで有名になりました。冬虫夏草とは、**コウモリガ**の幼虫に発生したキノコの和名でしたが、今では昆虫やクモに発生したキノコを総称して(約300種)冬虫夏草と呼ばれています。

ハチから発生したものは**ハチタケ**、アリなら**アリタケ**、チョウなら**サナギタケ**、セミなら**セミタケ**などたくさんの種類がありますが、強壮・動脈硬化予防・制ガン・抗菌作用などに用いられてきたのは、コウモリガの幼虫に発生した冬虫夏草です。

中国・チベット・ネパールなどに分布しているようですが、現在は乱獲で激減しているようです。



冬虫夏草の一種オオゼミタケ

樹のあれこれ

『シロダモ』クスノキ科クスノキ属

クスノキ科の常緑高木でセンター内には、**クスノキ**・**ヤブニッケイ**・**タブノキ**・**ホソバタブ**・**カゴノキ**・**イヌガシ**・**シロダモ**があります。東山作業道には、カゴノキ・イヌガシ・ヤブニッケイがあり、幼木では、なかなか区別が困難です。

シロダモは、クスノキに似て3行脈が目立ち、葉は互生、枝先に車輪状に付き、葉裏は蠟質に覆われ粉白色を帯びます。和名は、葉の裏が白いことにより、『タモ』はタブが転訛したものです。

春先の若葉は、垂れ下がり両面とも黄褐色の絹毛に覆われていて方言で**ウサギノミ**と言っている地方があります。

この木は、雌雄異株で雌木には11月ごろに淡い黄色の花と鮮やかな赤い実が同時に見られ人の目を引きます。この黄色の花は、



シロダモの若葉



シロダモの実

来年の秋までじっくりと1年かけて赤い実になります。実の中の種子は、球形で搾って油をとりロウソクの原料としました。

園内では、「東山作業道」や「ヤマアジサイの道」などに自生しています。



シロダモの雄花

研修会・イベント報告

10月8日(水) 『野生きのこ料理教室』

朝夕は少し肌寒く感じられるようになりきのこの発生も多くなっているようです。

緑化センターでは、きのこの名前・食毒(食べられるきのこか毒きのこの判定)に関する電話での問合せや持込による相談が相次ぎ、きのこへの関心の高さが伺えます。

今回の研修は料理研究家の金本先生に野生きのこの美味しい料理方法について指導をしていただきました。

ニンギョウタケのクリーム煮、タマゴタケとタマネギのスープ、キノコの炊込みご飯、きのこツナのおろし和えの4品の作り方を実演されました。

赤くてけばけばしいタマゴタケはスープに、緑色の斑点があるハツタケは炊込みご飯に、熱湯で茹でると紫色となるアマタケは和え物になりました。出来あがった後、皆で試食をしましたが、見た目にはとても食べられそうにもないきのこも美味しい料理となり、腹いっぱいまではいきませんでした。自然の恵みを堪能しました。

山に行ききのこを見かけても食毒がわからないため取らない人が殆どではないかと思えます。緑化センターでは、きのこ教室を行って名前や食毒の判定ができるように研修を行っています。あなたも名前、食毒を覚えてきのこ料理に挑戦してみませんか。



研修会実施状況

研修会・イベント紹介

○11月6日(木) 『晩秋の自然探勝』 10:00～12:00 学習室集合

講師:森林インストラクター 駄賀 恒男 先生

紅葉について簡単に勉強した後、園内で紅葉を中心に観察会を行います。

○11月11日(火) 『秋の写真教室』 10:00～12:00 学習室集合

講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生

上手に紅葉を撮影する方法を学んだ後、園内で撮影会を行います。

○11月14日(金) 『11月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合

講師:植物研究家 中塚 道則 先生

さくらの森コースを歩き、タムシバ・ミヤマガマズミ・ウラジロノキ等を中心に観察します。

○11月16日(日) 『落葉で遊ぼう』 10:00～12:00 学習室集合

講師:広島市ネイチャーゲームの会 住吉 和子 先生

落葉を使って、色々な遊びを行います。様々な色や形の落葉で楽しく遊みましょう。

○11月29日(土) 『写真コンクールの講評』 10:00～12:00 学習室

講師:二科会会友 宗岡 泰昭 先生

写真コンクールの入賞作品発表と全作品の講評を行います。

○11月1日(土) ～11月16日(日) 『もみじ祭り』 レストハウス周辺他

詳細は、「もみじ祭り」の案内をご覧ください。

花だより

ヒイラギモクセイ モクセイ科モクセイ属

ヒイラギモクセイは、先月ご紹介したキンモクセイ・ギンモクセイと同じ仲間になります。常緑小高木でヒイラギとギンモクセイの雑種と考えられています。

雌雄異株で香りのある白い花をつけます。日本には雄株しか渡来していないので、結実しません。葉に棘があるのが特長ですが、まれに棘がないものや鋸歯が小さいものなどもあるようです。

比較的土を選ばず生育し、刈り込みに耐え、日陰でも生育することから、生垣によく利用された時期があります。棘があるので、侵入防止の目的もあったようです。

病虫害にも強いのですが、『ヘリグロテントウミハムシ』が発生し、葉が食害されているのをよく目にします。自分の庭木を防除・駆除しても、近所も合わせて行わないと、飛んできて再発するので注意が必要です。



ヒイラギモクセイ:花



ヒイラギモクセイ:葉

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

- きのこ写真と本物のきのこ展 11月3日(月)迄 開催

きのこ写真の展示ときのこの実物を展示しています。

- 緑化センターの野鳥の巣展 11月5日(水)迄 開催

- 緑化写真コンクール歴代入賞作品展 11月7日(金)～11月30日(日)

過去の緑化写真コンクールに入賞した作品を展示します。

- 冬のバードカービング 11月8日(土)～2月28日(土)

木彫りで作られた冬鳥の展示

- 緑化センターのカエデ展 展示場所:緑の相談所

センター内で見ることのできるカエデの写真を展示しています。植栽場所等は、カエデ位置図をご覧ください。

◎ 11月は毎日開園します

11月の休園日はありません。紅葉や木の実などのんびりと秋を満喫して下さい。

◎ 11月1日(土)～11月16日(日)は『もみじ祭り』を開催します

期間中、様々な催しを企画しております。紅葉と共にお楽しみ下さい。

◎ 平成20年度緑化写真コンクールについて

応募締め切りは、11月24日(月)迄です。皆様のご応募お待ちしております。

◎ 緑化研修『クリスマスリース作り』の受付について

友の会会員は10月28日(火)から、一般の方は11月1日(土)から予約を受付けます。